

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1591300189		
法人名	社会福祉法人 桜井の里福祉会		
事業所名	グループホームつどいの家・桜町		
所在地	新潟県燕市分水桜町3丁目3番16号		
自己評価作成日	平成30年9月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.mhl.w.go.jp/15/1/ndex.php?act=on_kouhyou_detai1_2017_022_kani=true&Ji.gyosyoCd=1591300189-00&Pr.efCd=15&Ver.sj.onCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	平成30年10月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームつどいの家・桜町では、『住み慣れた地域でいつまでも暮らしたい』を支援します。を基本理念に掲げ、常設のカフェや足湯を地域の方々に開放し、ご利用者・ご家族、地域住民の皆様がいつでもつどえる場として提供し、地域に開かれた施設を目指しております。

小規模多機能居宅介護事業所を併設し、ご利用者同士が自由に行き来されており、昔なじみの友人やご夫婦、ご家族、ご利用者同士など、楽しい時間を一緒に過ごされています。また、施設内行事である祭りやクリスマス会等の行事や各種訓練等も一緒に行い、職員同士協力・連携を図りながらご利用者の生活が豊かになるよう努めております。

地域との交流では、自治会に加入して地域の主だった行事や祭りには積極的に参加しています。事業所広報誌やさくらまちカフェ、地域交流会のチラシなどは回覧板を活用して地域に発信し、交流の機会となっています。

運営推進会議には、自治会長や消防署、交番、民生委員の方に委員となって頂いており、施設での取り組みや実践状況を報告して理解を頂けるよう取り組んでいます。

職員はご利用者お一人おひとりの想いを汲み取り、その想いが実現するようできることから取り組んでいます。また、馴染みの生活の継続と、暮らしの中で役割をもって張り合いのある生活が送れるよう、常にご利用者の傍らで寄り添いながら支援しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○地域に開かれた事業所の取り組み

事業所の玄関に導かれるように、ユニット名の「はなみずき」と「やまぼうし」の木が植えられている。事業所の1階は大正ロマン風、2階は古民家風の設えとなっており、モダンな建物で、それぞれ落ち着いた生活環境となっている。利用者や職員の関わりもあたたかく、「住み慣れた地域でいつまでも暮らしたい」の基本理念の下、支援が行なわれている。毎日、1階常設の「さくらまちカフェ」や足湯を地域の方に開放し、誰もが気楽に集える場として、活用してもらえるよう積極的に働き掛けを継続している。回覧版を活用しての発信や地域行事に参加し、地域の方との交流を広められるよう取り組んでいる。

○利用者の会や家族会があり、共に支え合う協力体制の充実

毎月、利用者の会が開催されている。会長・副会長の役割も設けられ、当月の予定や意見・希望等の話し合いは、職員が寄り添いながら開催されている。さらに家族会があり、運営推進会議や行事への参加、研修会への参加などを通して、共に支え合う関係が築けるよう努めている。利用者・家族と職員間の信頼関係が厚く、利用者の笑顔と安堵感に繋がっている。

○利用者一人ひとりを尊重した生活支援の実践

職員は利用者一人ひとりの個性を尊重し、日々の支援にあたっている。事業所の施設や開放制限はせず、利用者は自由に行動できるよう全職員の意識は統一されている。食事は当日の予定や利用者の希望を聞き、旬の食材を採り入れたメニューを利用者と一緒で工夫し、利用者と職員が同じ食卓を囲んで同じものを楽しく食べる様子が窺えた。長年愛用した自分の茶碗・湯のみ・お箸などが準備され、家庭的な雰囲気の中、安全にも配慮された声掛けの対応がされている。また、利用者の想いと発した言葉を丁寧に聴き取り、希望に添ったケアプランの作成が行われている。利用者の今までの暮らしが継続され、その人らしい当たり前の生活を大切にしている様子が窺えた。